

#社会にいいこと #子ども・教育 #医療・福祉 #人権

日本医療の不健全な業界慣行を是正し社会全体の効率的な資源配分を達成



薄いのには混濁を視認できたということは考えにくく、検査データの記載ミスも原因として考えられる。その場合は検査部に問い合わせることなどの必要な手続きがあるが、それらも行われていない。4. そもそも検査データが読めていないので疑うこともできなかったと考えられる。

<<4>>次のようなことが起きないためにはどうしたらよいと思うか、対策

検査データの単位を確認しない、マイクロとデシが分からないなどといったお粗末な事態が発生しており、小手先の対策では手のつけようがない。お粗末な学部教育が批難されるべきである。学部教育の適正化が必要である。

支援総額

0円

目標金額 15,000,000円

0%

支援者

残り

0人

0日

あなたのシェアでプロジェクトを
さらに応援しよう！

プレビュー中

プレビュー共有

専用URLを使うと、あなたのシェアによってこのプロジェクトに何人訪れているかを確認できます



Facebook



X



LINE



note

概要

活動報告

応援コメント

目 プロジェクト本文

▼自己紹介

2015年 工学部学士

2017年 情報理工学修士

2019年 本件医科大学 学士入学

2020年以降、本件医科大学からの執拗な嫌がらせを受け流しつつ、学問の完成を目指して勉学に励んでいた。

2022年以降、大学病院での実習が始まったとき、本件医科大学の悲惨な医療実践を大学当局に直面化させ、改善を迫る等の活動に勤しんでいたところ、大学当局は逆上して刑法犯罪違反行為を実行。

2024年10月以降、フルタイムで告訴する体制に。

▼プロジェクトを立ち上げたきっかけ

2023年以降、本件医科大学が事実の直面化に堪えず、逆上して犯罪行為の実行に至ったこと。

工学部の同期及びその他周囲の人間が、その貢献性から当然期待される程度に経済的に豊かではないこと。

▼プロジェクトの内容

本件医科大学の告訴（2024年10月に所轄警察署に被害届提出、2025年1月に東京地検特捜部に告訴。）

日本医療体制の理解の促進と改善策の策定

医学知識の体系的理解

医学の立脚する科学そのものの総体的習得

その普及

▼プロジェクトの展望・ビジョン

本件医科大学の告訴については捜査当局の管轄下であり、引き続き関与の方法を模索する。
その他の項目については随時ブログ等で報告する。

プロジェクト実行責任者：[REDACTED]

プロジェクト実施完了日：2026年12月1日

プロジェクト概要と集めた資金の使途

犯罪的無能により詐欺組織であることが確定した医科大学の告訴を行うと共に、その犯罪背景となった現行医療制度の問題点の究明、改善、医療知識の頒布を行なっている。刑事責任の追及については告訴によってプロジェクト実行者の実行可能な法律行為を完了しているので、今後民事責任の追及を行なっていく。

リスク&チャレンジ

プロジェクトに必要な金額と目標金額の差額について

必要資金と目標金額の差額は借入・クリニック相続に伴う余裕資金等によって工面いたします。

あなたのシェアでプロジェクトをさらに応援しよう！

<https://readyfor.jp/projects/173369>

コピー

専用URLを使うと、あなたのシェアによってこのプロジェクトに何人訪れているかを確認できます



Facebook



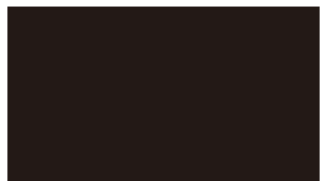
X

LINE



note

人 プロフィール



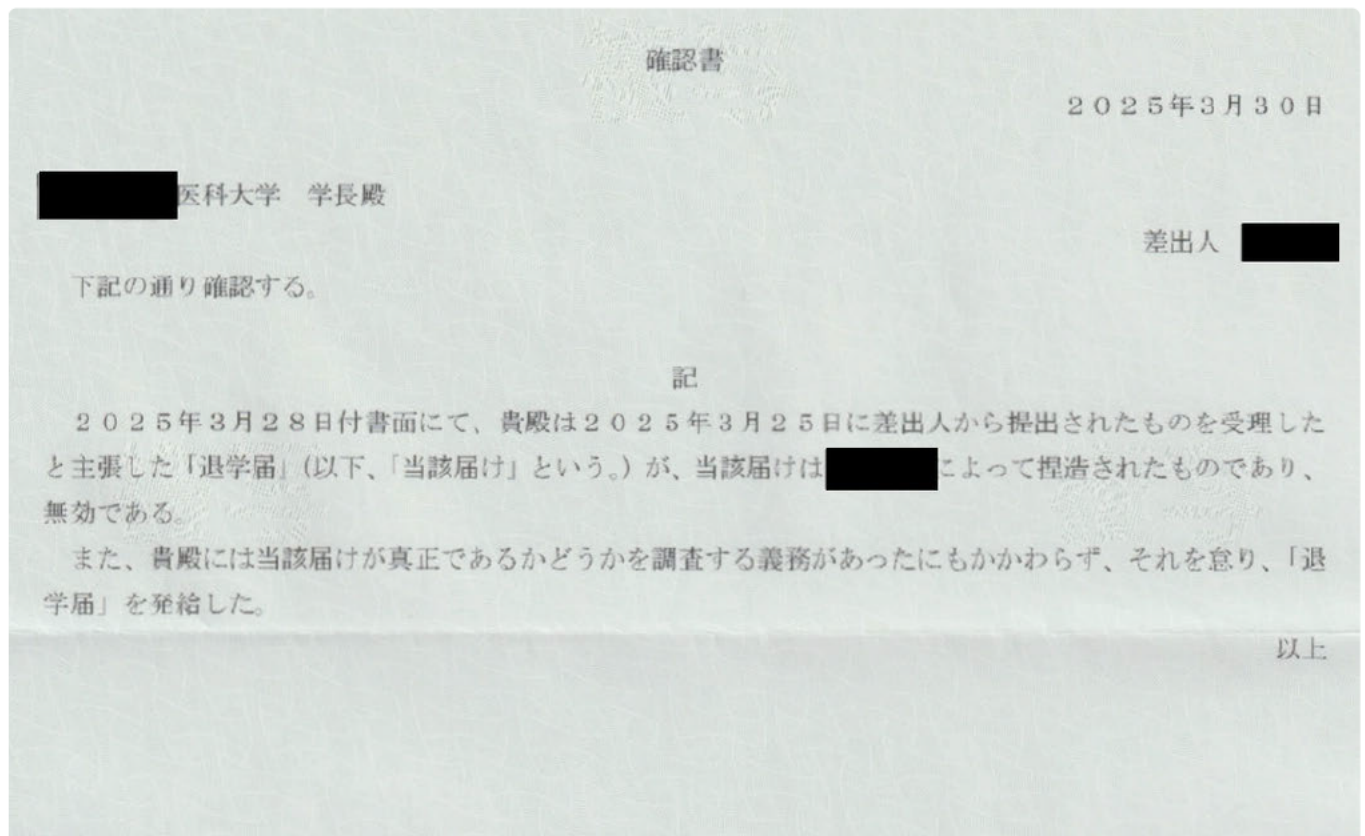
2015年 工学部学士 2017年 情報理工学修士 2019年 本件医科大学学士入学 2020年以降、本件医科大学らの嫌がらせを受け流しながら学問の完成を目指し勉学に勤しんでいた。2022年、大学病院で実習開始し、その医療実践の不出来を大学当局に直面化させていたが、大学当局が逆上。2024年8月以降、フルタイムで告訴する体制に。

🔖 リターン

リターンを絞り込む



50,000 円 + システム利用料



感謝のメール

活動報告・書面等をお送りします。

申込数	在庫数	発送完了予定月
0	制限なし	2026年8月

このリターンで支援する